

12月号 こぶし便り

1月行事予定

現在施設行事は
お休みしています。

理事長就任のご挨拶

社会福祉法人 クピド・フェア

理事長 井上 菜穂子



本年10月1日付けで理事長に就任致しました井上奈穂子と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

長年、札幌で税理士事務所を運営していますが、クピド・フェアとは10年ほど前からご縁をいただき、監事などの業務で関わらせていただいています。今後は、岩見沢市をはじめ空知管内の福祉の拠点として、皆様に安心して生活していただきながら、いつまでも持続発展していく施設であり続けるよう尽力させていただきますので、どうぞよろしくお願い致します。

今回は、私自身について少しお話をさせていただきます。

私は公務員だった父の転勤に伴い、北海道各地を転々としていましたが、50年ほど前から札幌に住み、大学卒業後すぐに税理士の仕事に従事しました。

また、15年前から7年間、税理士の仕事の傍ら、札幌大学女子短期大学部で会計学等を教えていました。ゼミナールを担当し、色々な学生の進路にも関わってきました。

現在は、世界有数の親日国である台湾に、北海道の優れた商品やサービスを提供する企業のお手伝いをしたいと思い、アテンド専門の会社を台北市に設立し、現地の専門家に業務委託をして日本との架け橋になってもらっています。

趣味は旅をすることと美味しいものを食べることです。学生時代から剣道と茶道もしていました。休日には家族でカヌーを楽しむこともありましたが、今は足を痛めてしまい、残念ながらあまり思うように活動できていません。遅ればせながら、これから身体を鍛え直そうと思っているところです。

私は子供が出来なかったのですが、夫婦で話し合い、里親をしようと思って色々探していたところ、新聞に外国人留学生のホストファミリーが足りなくて困っているという記事を見つけたのがきっかけで、26年前から留学生のホストファミリーをしています。

オーストラリア、タイ、インドネシア、フィリピン、マレーシア、アメリカ、カナダ、ドイツ、デンマーク、ベトナム、フィンランド、中国、トルコ、スウェーデン、台湾、ラオス、ブルネイと、今まで17ヶ国26人の女の子をお預かりしてきました。留学生は15歳から18歳の高校生で、約1年間一緒に生活しています。

留学生は札幌市内や近郊の高校に通って、一般の生徒と一緒に授業を受けたり、部活をしたり、時には恋人を作ったりして、日本人と同じく多感な青春を過ごしながら貴重な体験をしています。帰国した留学生から、結婚式に招かれたり、ご主人と子供を連れて札幌に里帰りしてくれることもあり、私達夫婦の大きな喜び事となっています。

そもそもこのボランティア団体は、アメリカを本拠地とした高校生のための留学プログラムを提供しており、10代の青少年に世界の国々の実情を知ってもらい、戦争のない平和な社会を作ること目標に活動しています。日本でも、毎年300名余りの生徒が留学し、ほぼ同数の生徒を受け入れていきます。ちなみに、身近なところではコロナ分科会の尾身茂会長もこの団体で留学経験をされました。

私達も、ボランティアとして協力させてもらっていますが、色々な国から来た留学生から刺激を受け楽しませてもらっている以上に、国の違いや考え、生き方、ダイバーシティ(多様性)、グローバル化など、多くのことを学ばせてもらっています。イスラム教徒の生徒がいた時にはラマダンやハラールを経験しましたし、母子家庭の悩みやLGBTQの相談も受けました。

今、社会ではSDGsが盛んに叫ばれています。中でも、③すべての人に健康と福祉を。⑤ジェンダー平等を実現しよう。⑧働きがいも経済成長も。⑩住み続けられるまちづくりを。⑫つくる責任、つかう責任。など、クピド・フェアを取り巻く私達の毎日に通じるテーマがたくさんあります。

世の中には様々な個性を持った方がたくさんいらっしゃいます。というより、人間社会は、様々な個性を持つ人々が集まって形成されていると言えるでしょう。自分以外の個性をもっている方々と豊かに共生していくことを再確認するのがSDGsの時代とも言えるのではないのでしょうか。

1人1人の人生は素晴らしいものです。お互いを認め合い協力し合って、生き生きと楽しく毎日を過ごしていけるような環境を作っていきたいと思っています。まずは自分自身、そして家庭や職場。その思いが社会へと繋がりが広がっていきます。

これから、皆さんとそんな社会を作っていきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。

SDGs 17の目標



- 1 貧困をなくそう
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康と福祉を
- 4 質の高い教育をみんなに
- 5 ジェンダー平等を実現しよう
- 6 安全な水とトイレを世界中に
- 7 エネルギーをみんなに。そしてクリーンに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤を作ろう
- 10 人や国の不平等をなくそう
- 11 住み続けられるまちづくりを
- 12 つくる責任、つかう責任
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 14 海の豊かさを守ろう
- 15 陸の豊かさを守ろう
- 16 平和と公正をすべての人に
- 17 パートナリシップで目標を達成しよう

※ SDGsとは・・・「持続可能な開発目標」
人類がこの地球で暮らし続けていくために、2030年までに達成すべき目標。

花火大会～2022夏～



8月29日(月)こぶし玄関前にて花火大会を開催いたしました。
夕食後、あたたかい服を着て準備万端！夜の外出は新鮮です。
職員と一緒に手持ち花火をしたり、打ち上げ花火を見ました。
最後は職員お手製の仕掛け花火、ナイアガラ！
夏の終わり、楽しい時間を過ごしました。



たまや～！



きれいだね



敬老のお祝いの
写真撮影時も職員に
ありがとうございますと
手をあわせてくださいました



こぶし最長齢3-5ユニット

日澤すゑ様にインタビュー

大正6年3月3日生まれ 105歳
青森県田子町にて9人兄弟の
8番目として出生される。
結婚後は3女に恵まれました。ご主人は37歳
で死去されており、以降農家を手伝いながら
お一人で子育てを行われた努力の方です。
お子さんたちが結婚され家を出られてからも、
95歳ごろまで1人暮らしをされていました。
平成29年9月こぶしへ入所されています。



民謡を歌われたり
本の朗読がお好き
でいつもお元気な
声がフロアでは
聞こえています